

## 【測定標準作業書の雛形】

### 〇〇〇〇※<sup>1</sup> 測定標準作業書

1. 定義、臨床的意義、測定方法及び測定原理、検査手順（フロー等）、基準範囲及び測定基準

① 機械器具等の添付文書・取扱い説明書に記載されている通り。

② 機械器具等の添付文書・取扱い説明書は、コピーして本標準作業書に添付する。

2. 測定上の注意事項

各検査の添付文書・取扱い説明書に従って、実施する。なお、下記の点に留意する。

①安全管理（試料等の取扱を含む）、②機器の起動確認、③操作準備、④分析、⑤操作終了、⑥状況によって緊急停止を行い、停止後手順に沿って復旧又は業者へ連絡

※1 下記のように、医療機関で測定する検体検査の項目及び血清分離の名称を記載する。なお、血清分離を行わない医療機関は血清分離の記載は不要である。

例1) 尿一般検査（ウロビリノーゲン, 潜血, 蛋白, 糖, ケトン体, ビリルビン, pH)

例2) インフルエンザウイルス抗原